

2024年(令和6年)5月1日



さがみはら市議会だより

No.225

編集・発行：相模原市議会 電話 042 (769) 9803
〒252-5277 相模原市中央区中央2丁目11番15号
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/>

※無断転載・転用は
お断りします。

未来を見据えて… 令和6年度の当初予算をチェック!

市長から提出された
令和6年度当初予算案について
活発に議論しました!
詳しい内容は
3面、7面をご覧ください!

少子化対策



雇用促進対策



中山間地域対策



TOPICS



主な議案の概要
委員会の審査
主な議案の審議結果

2



代表質問
7党派により行われた代表質問・個人質疑と
市の答弁を分かりやすく紹介

3



一般質問
市政全般に対して行われた質問と市の答弁を
分かりやすく紹介

4

5

6



予算特別委員会分科会の審査
予算に対する討論要旨

7



常任委員会活動レポート
議会運営委員会活動レポート
大都市制度に関する研修を実施

8

3月定例会議

令和6年度予算や 人権尊重のまちづくり条例など 62件の議案を可決・同意



3月定例会議では、令和6年度予算の議案が提出され、過去最大規模となった予算の編成における考え方や、持続的に発展を続けるまちとするため、分野横断的に取り組む3つの重点テーマなど、予算の特徴等について質疑等がなされました。

また、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、お互いの人権を認め合う共生社会の実現を目的とする人権尊重のまちづくり条例や、障害者施策の見直し・転換に伴う重度障害者等福祉手当を廃止する条例等の議案が提出され、本会議や各常任委員会で質疑等がなされました。



その他詳細は、市議会ホームページを
ご覧ください。

6月定例会議のお知らせ

6月定例会議の予定は、次のとおりです。
本会議・委員会は、午前9時30分から開会する予定です。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| 5月22日(水) 議会運営委員会 | 14日(金) 民生委員会 |
| 28日(火) 本会議(提案説明) | 25日(火) 本会議(一般質問) |
| 6月 5日(水) 本会議
(代表質問・個人質疑) | 26日(水) 本会議(一般質問) |
| 6日(木) 本会議予備日
(代表質問・個人質疑) | 27日(木) 本会議(一般質問) |
| 10日(月) 総務委員会 | 28日(金) 本会議
(委員長報告、採決) |
| 11日(火) こども文教委員会 | <本会議終了後> |
| 12日(水) 市民環境経済委員会 | 議会運営委員会 |
| 13日(木) 建設委員会 | |

本市議会議員による酒気帯び運転について、 議長がコメントを発表しました(令和6年4月16日)

本市議会議員である田崎明議員が酒気帯び運転により検挙される事案が発生いたしました。

飲酒運転の根絶は市民共通の願いであり、市を挙げて懸命に取り組む中で、市議会議員自らがこのような事態を起こしたことは、市議会を代表する議長として誠に遺憾に存じますと共に市民の皆さまに深くお詫び申し上げます。

今回の件につきまして、市議会として厳正に対処してまいります。また、今後は二度とこのようなことが起こらぬよう全議員が再発防止をもとより、改めて綱紀粛正に努めてまいります。

相模原市議会議長

※本件については、4月16日に田崎議員から議長あてに辞職願が提出され、17日に議長が辞職を許可しました。

相模原市議会の詳しい情報は

市議会ホームページ・フェイスブック・インスタグラムでもご覧になれます。
本会議・委員会のインターネット放映をご覧になったり、会議録が検索できます。
ホームページ <https://www.sagamihara-shigikai.jp/> 相模原市議会



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!



3月定例会議

主な議案の概要

重度障害者等福祉手当条例を廃止する条例

障害者施策の見直しや転換に伴い、令和6年9月末をもって重度障害者等福祉手当を廃止する(経過措置等あり)。

工事委託協定

淵野辺こ線橋の橋りょう修繕工事

工事の場所：中央区淵野辺3丁目4番先から鹿沼台1丁目5番先まで
委託金額：4億9,266万円
協定の相手方：東日本旅客鉄道株式会社

工事請負契約

市立博物館のプラネタリウムの更新

工事の場所：中央区高根3丁目1番15号
契約金額：4億9,999万円
契約の相手方：株式会社五藤光学研究所

指定管理者の指定

市立相模川自然の村／市立相模川自然の村野外体験教室

指定管理者：コンパスグループ・ジャパン株式会社
指定期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

令和5年度一般会計補正予算(第9号)
補正額：114億600万円

子どもの性被害防止対策事業 7,187万円

国の補正予算による補助金を活用し、保育所等各施設における性被害防止対策の強化を行う。

人権尊重のまちづくり条例の制定

人権尊重のまちづくりに関する基本理念、市の責務や施策の基本事項、不当な差別的取扱いの解決や不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する事項、声明に関する事項等について所要の定めを行う。



その他詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の審査

上程された議案及び陳情は、所管の委員会に付託され、様々な視点から審査されました。主な条例等に関する質問事項は、次のとおりです。

総務委員会

指定管理者の指定(市立相模川自然の村／市立相模川自然の村野外体験教室)

- 指定管理者を再募集するに至った経緯
- 指定管理者に対するモニタリング内容の見直し
- 施設の魅力を向上させるための取組【賛成総員により可決】

民生委員会

令和5年度一般会計補正予算(第9号)所管部分
※子どもの性被害防止対策事業に関して

- 事業の具体的な内容や補助対象となる施設とその数
- 施設へのアンケートの目的や結果
- 関係者に対してカメラの設置目的を周知する必要性と方法【賛成総員により可決】

市民環境経済委員会

人権尊重のまちづくり条例

- 人権施策審議会からの答申の反映状況や議案上程の時期
- 人権委員会の役割や機能
- 相談支援体制の整備に向けた取組【賛成多数により可決】

建設委員会

工事委託協定(淵野辺こ線橋橋りょう修繕工事)

- 協定締結の方法を随意契約とした理由
- 工事期間中の安全確保策【賛成総員により可決】

子ども文教委員会

工事請負契約(市立博物館プラネタリウム更新業務委託)

- プラネタリウムを更新するに至った経緯
- 現在のプラネタリウムの観覧可能期間と工事スケジュール
- 今後取り組む宇宙教育の具体的な内容【賛成総員により可決】



令和5年第2回定例会 令和6年3月定例会議 主な議案の審議結果

Table with columns for bill number, title, and committee voting results (賛成, 反対, 棄権) for various parties (自民, さがみみらい, 公明, 立民, 日本維新の会, 颯爽, 日本共産党, 無所属). Includes a note at the bottom: ※3月定例会議のその他の議案47件は、全会一致で可決・同意されました。詳細は市議会ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

議会内会派の構成(令和6年3月19日現在)

Table listing the composition of political groups in the city council, including: 自由民主党相模原市議団(自民党) 14人, 民主みらい・無所属・地域政党さがみはら(さがみみらい) 9人, 公明党相模原市議団(公明党) 8人, 立憲民主党(立民) 5人, 日本維新の会相模原市議団(日本維新の会) 4人, 颯爽の会(颯爽) 3人, 日本共産党相模原市議団(日本共産党) 2人, 会派に属していない議員(無所属) 1人.

代表質問

7会派による代表質問・個人質疑の要点をピックアップしました。詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)などをご覧ください。

〈2月21日〉
中村 昌治(自 民 党)
鈴木 秀成(さがみらい)
西家 克己(公 明 党)



〈2月22日〉
仁科なつ美(立 民)
岩井 大(日本維新の会)
長谷川くみ子(颯 爽)
今宮ゆうき(日本共産党)



令和6年度当初予算 編成の考え方と特徴は

Q 過去最大規模の3,415億円を計上した当初予算の考え方は。

市長 物価上昇の影響を踏まえ、市民の暮らしの安全・安心の確保に要する経費を計上したほか、持続的に発展するまちとするため、3つの重点テーマ(※1)や本市の個性を最大限に生かした子育て、教育、まちづくりの特徴的な取組に重点的に配分した。

Q 歳入の根幹をなす市税収入の主な内訳は。

市長 個人市民税は納税義務者等の増加が見込まれるものの定額減税(※2)の影響で約25.8億円の減収、法人市民税は企業収益の堅調な推移を見込んで約8.7億円、固定資産税は償却資産の設備投資の促進等を見込んで約11億円の増収としている。

Q 増加傾向にある財政調整基金の活用見込みは。

市長 突発的な財政需要への対応や年度間の財源の不均衡の調整に活用してきたが、将来の税源涵養にも資する大規模な建設事業など、重点施策に要する経費の財源としても活用していく。

Q 予算の編成手法を全件査定としたことによる効果は。

市長 全ての事務事業経費について所要額を精査したことで、過去の不用額や今後の財政需要等を精緻に勘案した予算配分となった。また、市民生活に直結する経費を増額するなど、限られた財源の中で効果的な予算編成が行えたと認識している。



予算書等

重度障害者等福祉手当 廃止の理由と今後の取組は

Q 手当を廃止する理由は。

市長 障害のある方を取り巻く環境や、社会状況の変化が生じていること等を踏まえ、従来型の個別給付の手法を見直し、福祉基盤の整備へと転換する必要があると考えたためである。

Q 福祉基盤の整備の具体的な取組は。

市長 令和6年度から中央障害者相談支援キーテーションの設置等による「相談支援の基盤」、事業所の指導・監査体制の強化等による「福祉サービスの基盤」、短時間雇用促進等による「地域生活の基盤」の整備に取り組み、7年度以降は地域生活支援拠点の強化等を検討する。

人権尊重のまちづくり条例 制定目的や市民意見の結果は

Q 条例制定により目指す本市の姿は。

市長 本条例の制定が礎となり、人権尊重の理念を社会に広く浸透させることで、一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、互いの人権を認め合う共生社会の実現を目指していく。

Q パブリックコメントに寄せられた主な意見は。

市長 「禁止措置に罰則を導入すべき」「人権委員会の権限を強化すべき」「規制措置の対象属性の範囲を拡大すべき」「津久井やまゆり園事件を決して容認することはできないと明記すべき」との意見を多く頂いた一方で、「禁止措置を設ける必要はない」「条例制定自体に反対」等の幅広い意見も頂いた。

Q 「障害者に対する不当な差別的言動」を禁止措置(禁止・勧告・命令・公表)の対象に含めなかった理由は。

市長 憲法が保障する「表現の自由」を不当に侵害しないよう、立法事実に基づき定める必要があると考えているため、立法事実を把握した対象について、禁止措置を講じることとした。

Q 条例の施行後3年を目途として状況等について検討を行うこととしているが、著しい立法事実等が生じた場合は。

市長 社会情勢の変化等により、重大な人権課題が生じた場合には、3年を待たずに必要な検討を行うものと考えている。



本会議の様子(3月19日)

令和6年能登半島地震 被災地支援と本市防災対策は

Q 被災地への支援状況と今後の支援方針は。

市長 救助・救急活動等を行う消防職員や住家被害認定調査等を支援する事務職員など、2月20日現在で延べ290人を派遣した。今後は、庁内横断的な大規模災害時支援チームを中心に迅速な被災地支援や円滑な広域避難者の受入れに取り組んでいく。

Q 被災状況を踏まえた防災関連事業の予算措置は。

市長 首都圏南西部や県央地域のリーダーとして近隣都市をけん引し、主体的な取組を進めるため、本市の災害対応等において必要性が増した事業に要する経費や、今後の被災地支援体制等の検討に要する経費など、約2億900万円を計上した。

Q 避難者の負担軽減に繋がるトイレトレーラーの導入の考えは。

市長 衛生面などからも、仮設トイレよりも有効性があると認識しているが、台数の確保や維持管理等の課題もあるため、民間事業者との災害時応援協定の締結を含め、検討していく。



輪島市内の土砂崩れ現場での活動の様子

用語解説 ※1 3つの重点テーマ
分野横断的に取り組むものとして、少子化対策、雇用促進対策、中山間地域対策の3つを重点テーマとしている。

※2 定額減税(個人住民税関連)
納税者及び配偶者を含めた扶養親族1人につき1万円を減税するもので、本市では約43億円の減収を見込むが、地方特例交付金により国から全額が補填される。



にしだ ゆうと
西田 悠人
(自民党)



Q 青葉小学校閉校後の跡地活用
複合施設新築への変更理由は

市長 隣接する光が丘公民館が改修時期であることや、子どもが活動する施設との一体的な整備で様々な機能が融合し、利用者の交流が深まる等の相乗効果を期待し、新築することとした。

Q 市立児童クラブの待機児童問題
放課後子ども教室の拡充等は

市長 解消に向け、学校の余裕教室等の活用や民間児童クラブの利用促進等を進めている。今後は、放課後子ども教室の拡充や児童クラブとの連携した運営等、様々な方法を検討していく。

その他の質問 難聴学級における支援体制など



えのもと ようすけ
榎本 揚助
(さがみみらい)



Q 災害時最大のテーマは水の確保
市単独で供給できる水量は

市長 市設置の貯水槽等の飲料水は、想定避難者数が最も多い地区で約18日分となる。また、各地区の備蓄飲料水は、全市民が使用する場合に、最も人口が多い地区で約1.7日分となる。

Q 災害時協力井戸(※)の設置促進
自治会による設置への支援は

市長 人口集中地域での新たな井戸設置は、生活用水の確保対策に有効と認識しているが、自治会設置の井戸への補助は、井戸水が枯れた場合の対応など、課題の整理が必要と考えている。

その他の質問 少子化対策及び移住・定住促進施策など

※災害時協力井戸 災害時に、地域住民の応急用の生活用水(飲用以外のトイレや洗濯等に利用する水)を確保することを目的として、市民や事業者等に登録いただく井戸のこと。



児童クラブで過ごす子ども達

※小1の壁 子どもの小学校入学を機に、放課後の預け先がなくなるなど、仕事と家庭の両立が困難になること。



ほほ ふみこ
保々 富美子
(公明党)



Q 困窮世帯への修学旅行費援助
参加をキャンセルした時の対応は

教育長 就学奨励金の交付対象者が修学旅行に参加しないときのキャンセル料の負担については、保護者からの意見もあることから、キャンセル料を就学奨励金の対象とすることを検討していく。

Q 保護者の不安「小1の壁(※)」
解消に向けた市の取組は

市長 令和5年12月に閣議決定された国の「こども未来戦略」では、「新・放課後子ども総合プラン」の着実な実施が「小1の壁」の解消策とされているため、まずはその取組を進めていく。

その他の質問 ペットと住みやすい街。相模原など



うすい たかひこ
臼井 貴彦
(立民)



Q 民間活力による無料巡回バス
地域の移動手段として活用は

市長 多様な移動ニーズに対応する手段の一つとして有用と認識しているが、事業に賛同する企業間の連携やスポンサー確保が必要のため、他自治体での導入事例等も参考に研究していく。

Q 通級指導教室(※)の増設状況と
学習の定着に向けた支援は

教育長 令和5年度は緑区に2室開設した。より学びやすい環境に向け、引き続き在り方を検討する。通常学級で学習の定着に課題のある児童生徒には、担任等が少人数や個別で指導している。

その他の質問 相模原駅周辺のまちづくり/相模原市開発事業基準条例など

※通級指導教室 ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、児童生徒の状態に応じて指導を受けられる場。本市は「サポートルーム」「きこえことばの教室」を設置している。



クラウドファンディング型
ふるさと納税の例(長野県)



市政全般にわ
ポイント

議案以外
に関する
一般質問



むかわ けい
務川 慧
(自民党)



Q A & A(※)後続地区への産業誘致
データセンター立地の考え方は

市長 複数のデータセンターが立地された場合、多くの高度専門職の雇用機会の創出や税収の増加に加えて、新たな都市拠点として地域の活性化に繋がるものと認識している。

Q 渋滞激しいA & Aエリアの村富線(※)
4車線化整備の考え方は

市長 第2次相模原市新道路整備計画で、麻溝台・新磯野整備推進事業の進捗に合わせて整備することとしている。当該事業が組合施行の場合も、当該路線は一体的な整備を予定している。

その他の質問 食料安全保障政策など



いしかわ いたる
石川 達
(さがみみらい)



Q クラウドファンディング型寄附制度
本市において導入する考えは

市長 更なる財源確保の取組として、他自治体の先進的事例等も参考にしながら、制度導入に当たっての課題を整理し、実施に向けて検討していく。

Q 「発達の課題」と「不登校」
両者の関連性について見解は

教育長 不登校の要因は様々であり、発達の課題と不登校の因果関係は明確ではないが、発達を含めた様々な課題に対し適切な支援を行うことが、不登校の未然防止にも繋がると考えている。

その他の質問 ロムロムの滝/重要土地等調査法など



すずき こうち
鈴木 晃地
(日本維新の会)



Q A & A後続地区の整備の推進
地権者や事業者への支援は

市長 民間活力による市街地整備においても、地権者との合意形成や関係機関との協議等、事業化に向け技術的援助を行うこととしており、令和6年度は、組合設立に向けた支援をしていく。

Q 東林間2丁目未利用市有地
利活用に向けた検討状況は

市長 令和3年11月に地域説明会を開催し、地域と相談して検討を進めることとした。これを受け、令和4年1月から11回にわたり、地域の自治会と利活用に向けた意見交換や協議を行っている。

その他の質問 道路における維持補修/通学路における横断歩道の対応など



いがらし ちよ
五十嵐 千代
(颯 爽)



Q 給食での市内産有機米の活用
児童等の反応と残渣の状況は

教育局長 令和4年度は小学校で、5年度は中学校のデリバリー給食で提供したところ、児童生徒からは「お米が甘くておいしかった」等の声が寄せられ、小学校ではほぼ残さず食べられていた。

Q 子どもの意見表明を支援する
独立アドボケイト(※)活用の考えは

市長 本市では、子どもの権利救済委員を配置している。子どもの意見の代弁に特化した、より利害関係のない第三者を取り入れた仕組みは、先行自治体等を参考に検討していきたい。

その他の質問 マイクロプラスチック汚染と人工芝など

※独立アドボケイト 子どもが自らの考えを整理することや意見を表明することを支援したり、本人に代わって発言したりする「子どもアドボカシー」を、独立的な立場から行う人のこと。



せきね まさごろう
関根 雅吾郎
(さがみらい)



その他の質問 寄附/広域連携/交通安全/市民にお得な情報の周知など

Q 定額制のタクシー乗り放題協議の状況や導入の考えは

市長 事業者との意見交換では、運転手の確保等の課題が示された。相模台地区で実施する乗合タクシーの実証実験での利用ニーズ等を踏まえ、運行形態など様々な視点から検討していく。

Q 本気の自治会加入率向上策講習の実施や負担の軽減は

市長 活動の手引きへの加入呼びかけ方法の掲載や、市自治会連合会を通じ組織のスリム化等の事例を提供している。今後、より積極的な支援策としてアドバイザーの派遣を検討していく。



おりかさ まさはる
折笠 正治
(自民党)



その他の質問 本市のバスケットボール競技の振興など

Q 家庭での防災備蓄を推進市の備蓄状況公表の考えは

市長 市民の自助の取組を推進していく上で、市が備蓄する物品等の公表は必要と考える。今後実施する防災アセスメント調査の結果等を踏まえ、品目や必要量を定め、周知していく。

Q 所有者が不明の空家市民からの相談への対応は

市長 空家に係る法的な対応の相談には、区役所等での法律相談や県弁護士会の窓口等を案内し、適切に管理されていない空家の相談には、市が所有者に適正な管理の促し等を行っている。



なかむら ただとき
中村 忠辰
(公明党)



Q 迅速な災害時医療活動へ本市版DMAT(※)指定の検討は

市長 市がDMATを指定する場合は、県との調整や災害拠点病院の協力が不可欠なことから、直ちに指定することは難しいと考えているが、今後の検討課題であると認識している。

Q 災害現場等での活躍が増加ドローンの配備体制と実績は

市長 消防局で5機保有し、津久井消防署に運用隊を配備している。令和元年の運用開始から、災害現場で延べ45件、177回の飛行を行い、水難救助の捜索現場で要救助者2名を発見している。

その他の質問 中山間地域対策など



都市計画道路相原大沢線
(相原2丁目交差点付近)



おおやぎ さとし
大八木 聡
(自民党)



その他の質問 子育て支援/デジタルアーカイブの活用など

Q 都市計画道路相原大沢線(※)整備進捗状況と今後のスケジュールは

市長 全ての用地取得が完了し、所有者に建物解体を進めていただいている。引き渡し完了後に造成工事を行う予定で、境川に橋梁を新設するため、引き続き河川管理者と協議していく。

Q 早まっている桜の開花時期市民桜まつりの3月開催は

市長 市内も近年、3月下旬には満開になっている。桜の下での開催は多くの方の思い出に残り、シビックプライドの醸成にも繋がることから、今後、実行委員会で開催時期を検討していく。

※DMAT (Disaster Medical Assistance Team) 医師や看護師等で構成され、大規模災害等の現場で、発生から概ね48時間以内の急性期に活動することができる、専門的な訓練を受けた医療救護チームのこと。



津久井産材を活用している教室

※都市計画道路相原大沢線 ここでは、相原2丁目交差点から町田市境までの区間(第4工区)を指す。



おおさわ ようこ
大沢 洋子
(立民)



その他の質問 道の駅/学校給食センターの整備など

Q 地震火災の多くは電気が原因感震ブレーカー(※)設置への助成は

市長 自助の取組として設置の普及啓発に努めているが、認知度向上へなる取組が必要と考えている。設置への助成は、自助の取組への補助の在り方を含め、検討するものと考えている。

Q 市民の更なる移動手段の確保新たなモビリティの導入は

市長 新たなモビリティサービスの活用による移動手段の確保は、多様な移動ニーズへの対応にも有用である。AIを活用した技術開発が進んでおり、本市での導入効果等を検討していく。



のもと よしみ
野元 好美
(颯 爽)



Q 障害等のある子の就学相談本人や保護者の希望の尊重は

教育長 状況に応じて、子どもの視点に立った様々な意見もいただきながら相談を受けるとともに、本人の希望や保護者の思いを丁寧に伺い、教育的ニーズに適した就学先を決定していく。

Q 学校施設への木材利用推進へ津久井産材の計画的な活用は

教育長 地域材の活用は、環境負荷の低減に加え、地域の活性化や文化の継承にも繋がることから、中長期的な視点を持って、さがみはら津久井産材の更なる活用を検討していく。

その他の質問 盛土への対応など

※感震ブレーカー 地震発生時に設定値以上の揺れを感知した場合に、ブレーカーやコンセント等の電気を自動的に止める器具のこと。



みすじょうたろう
三須 城太郎
(さがみらい)



その他の質問 スポーツを通じた本市の魅力発信など

Q 自走式ロープウェイ「Zippar」新たな移動手段として活用は

市長 当該交通システムは、現在、実用化に向けて開発中であると承知している。今後、開発の状況や他自治体の動向、移動手段としての効果などを注視していく。

Q 市内民間キャンプ場の倒木事故安全・安心な利用への取組は

市長 市内キャンプ場の運営者等を対象に樹木点検講習会の開催等を行った。引き続き、行楽シーズン等の時期を捉え、安全確認・安全対策の呼び掛けや利用者への注意喚起を行っていく。



はにうだ がく
羽生田 学
(日本共産党)



Q 市立児童クラブの職員対応クラブ間の差を解消する取組は

市長 児童クラブ職員として必要な知識や技能を身につけるための研修を行い、運営の資質向上に努めるとともに、児童育成支援員連絡会議を開催し、各クラブの情報共有を図っている。

Q 小学4、5年生の「学びの調査」市独自実施の経緯と目的は

教育長 調査(※)の結果、5年生までの学習に課題があったため、より詳細に子どもの学習状況を把握し、一人ひとりに応じた指導を行う必要があることから、令和元年度から実施している。

その他の質問 保育事業/教職員など

※調査 小学6年生と中学3年生を対象に実施する、全国学力・学習状況調査のこと。

議

般 問

たる、一般質問の
抜き出しました。

の市政全般
質問を
と言うんだよ。

各議員の
氏名の下から
一般質問の録画
映像にアクセス
できます。

一般質問

3月定例会議



おおつき かずひろ 大槻和弘 (自民党)



Q 麻溝台中の機能低下した空調 計画的な再整備を行う考えは

教育長 室温が下がらない状況が発生したが、令和5年度に分解洗浄を行い改善している。同時期に整備した学校でも同様の状況がみられるため、個別対応とともに計画的な更新に努めていく。

Q ヤード(*)の設置は法規制の対象外 条例により規制を行う考えは

市長 規制なく設置されることは、騒音や振動等で市民の生活環境に影響を及ぼす可能性もあるため、条例化している他自治体の事例や市内の状況等を把握し、対応方法を検討していく。

その他の質問 令和6年能登半島地震を受けて/児童館の再整備など



経年劣化が進む空調機器(麻溝台中学校)



たさき あきら 田崎明 (日本維新の会)



Q 住民満足度が高まる情報を 広報の重要性に対する認識は

市長 市の施策や魅力といった様々な情報を、必要とする方に確実に届けることがとても重要と考えていることから、対象や目的を明確にし、戦略的に発信することが必要と認識している。

Q 災害等の有事には財源が必要 財政調整基金等の備えは

市長 まずは当初予算の災害復旧費や予備費で対応し、不足の際は国庫補助金や市債等も活用し補正予算を編成している。プラン第2期案で設定した財政調整基金残高(*)は、十分と考えている。

その他の質問 教育現場における環境整備など

※プラン第2期案で設定した財政調整基金残高 相模原市行財政構造改革プラン第2期案において、他の指定都市の標準的な積立水準等を勘案し、本市の標準財政規模の8%程度の額を確保するとしている。



市の情報を伝える広報紙など



もり しげゆき 森繁之 (さがみらい)



Q DX推進で市民生活を豊かに 職員の人材育成等の取組は

市長 令和5年7月に、本市がDXに積極的に取り組むことを市内外に表明し、併せて所属長に研修を実施した。今後も、DXをより一層推進していくために、人材の育成を進めていく。

Q 高齢化が顕著なケアマネジャー 人材不足への認識と対応策は

市長 人材の不足は、増大する介護ニーズに的確に対応する上で重大な課題である。育成にも時間を要することなどから、着実な確保に向けて、引き続き必要な支援に努めていきたい。

その他の質問 リスキリングなど

詳しい内容については、市議会ホームページや議会中継(録画)をご覧ください。



各議員の氏名の下から一般質問の録画映像にアクセスできます。



くり はら ゆたか 栗原大 (立民)



Q 中山間地域の診療所統合計画 往診等による患者負担増は

市長 往診料等に加え、車使用の実費相当分や薬の配達料が、これまでと同様に必要になる。国民健康保険等の医療保険に影響はあるが、必要な診療の実施に伴う経費の増額と考えている。

Q リニア車両基地の建設工事 地元企業の受注拡大の要請は

市長 これまでも期成同盟会(*)としてJR東海に地元企業の受注機会の拡大を要望している。市としても工事の受注者に同様のお願いをしており、引き続き機会を捉えて働き掛けていく。

その他の質問 名手橋/下水道整備計画など

※期成同盟会 平成2年設立の「リニア中央新幹線建設促進神奈川県期成同盟会」のことで、県内全ての市町村長などが会員になっている。



うしろだ ひろみ 後田博美 (公明党)



Q 災害弱者に配慮した避難所へ 備蓄している資機材の内容は

市長 各避難所の倉庫にユニバーサルトイレや箱型のパーテーション等を備蓄している。引き続き、災害時に支援が必要な方々のご意見等を伺いながら、必要な備蓄に努めていく。

Q 子宮頸がん検診の新たな方法 HPV検査単独法(*)の導入は

市長 受診間隔は5年だが、陽性の場合には1年後の追跡検査が必要となる複雑な仕組みのため、導入に際しての課題等の整理に向け、市医師会と意見交換を始めており、対応を検討していく。

その他の質問 市営住宅駐車場の活用など

※HPV検査単独法 子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)に細胞が感染しているかを検査し、陽性の場合のみ、追加的な検査として、細胞を顕微鏡で調べる検査方法のこと。



すだ たけし 須田毅 (自民党)



Q 相模大野中央公園の憩いの場 カフェ設置に向けた進捗状況は

市長 事業者と具体的な設置場所や設備の調整、設置管理許可の手続きなどの協議等を行っている。今後は、覚書の締結や公園・地域の特性を生かしたカフェのコンセプト等を調整していく。

Q 民設民営アイススケート場の誘致 今までの経過と今後の取組は

市長 これまで、施設の視察のほか事業者へのヒアリング等を行ってきた。引き続き、必要な調査等を進め、令和6年度中には、候補地の選定や事業スキーム等の一定の方向性を定めていく。

その他の質問 高齢者のための敬老関連の事業/生成AIなど

陳情の審議結果

不採択

継続審査

- ▷相模原市人権尊重のまちづくり条例案に関することについて(第1号)
- ▷[行財政構造改革プラン]“市重度障害者等福祉手当廃止案”の撤回を求める件に関することについて(第2号)

- ▷生活介護事業に関することについて(第3号)

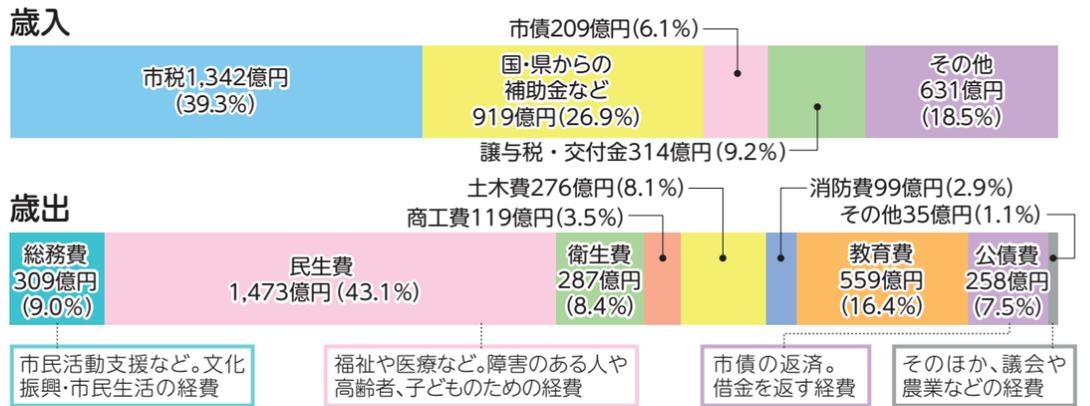
さがみはら市議会だより 録音版・点字版のご案内

活字のさがみはら市議会だよりを読むことが困難な方や視覚に障害のある方のために、録音版・点字版を発行しています。図書館や津久井地域のまちづくりセンター等に配架しているほか、希望される方には郵送をしています。ご希望の方は、政策調査課(042-769-9803)へご連絡ください。





一般会計
予算の
構成
一般会計
3,415億円
(過去最大規模)



予算特別委員会 分科会の審査

令和6年度の予算について審査するため、全議員による予算特別委員会が2月22日に設置され、大槻和弘委員が委員長に、関根雅吾郎委員が副委員長に選出されました。予算特別委員会に付託された予算案は、5つの分科会で詳細な審査が行われました。ここでは、分科会でのチェック事項の一部を紹介します。

総務 予算額 **1,900万円**
市制施行70周年記念事業
事業概要▶市制施行70周年を皆で祝うことでシビックプライドの醸成を図るとともに、認知度向上や関係・交流人口の増加、転入促進に寄与する機会とするため、記念式典等を通じて本市の魅力を市内外に発信する。
チェック! ●想定している記念事業の具体的な内容は。
●より多くの市民に参加していただけるよう、すでに実績のある「さがみはらフェスタ」と合同で開催する考えは。
●広報活動における市の認知度向上等のための取組方針は。

民生 予算額 **298万円**
訪問型オンライン診療事業
事業概要▶在宅医療の充実を目的に、車両を用いた訪問型オンライン診療の実証事業を行う。
チェック! ●中山間地域で導入する目的と事業内容は。
●中山間地域を盛り上げる「地域おこし協力隊」との連携は。
●実証事業終了後の事業展開は。

市民環境経済 予算額 **4,246万円**
防犯交通安全対策事業
事業概要▶交通安全及び防犯についての意識の高揚を図るため、防犯講習会等の開催のほか、SNSや各イベントにおける交通安全等に関する意識の普及・啓発等に取り組む。また、自転車用ヘルメットの着用を促進するため、ヘルメットの購入費を補助する。
チェック! ●自転車用ヘルメットの着用率が低い要因は。
●ヘルメット購入費補助の対象者や申請開始の時期は。
●自転車の安全運転の実践に繋がる取組の進捗状況は。

建設 予算額 **4,301万円**
乗合タクシー等運行事業
事業概要▶中山間地域の交通不便地域等における生活交通を確保するため、乗合タクシーやデマンドタクシーを運行するとともに、内郷地区と吉野・与瀬地区では、自宅での乗り降りを可能とする実証実験を行う。また、旧市域への導入可能性について相模台地区で実証実験を行う。
チェック! ●自宅付近に新たな乗降場所を設定するドア・ツー・ドア輸送の実証実験が内郷地区で実施される経緯や背景は。
●旧市域において、乗合タクシーの実証実験を行う地区を拡大する考えは。

こども文教 予算額 **3億3,250万円**
空調設備整備事業
事業概要▶近年の気象状況を踏まえ、熱中症対策等の教育環境の改善や災害時の避難所の機能向上等を図るため、学校体育館(6校)へ空調設備を整備するとともに、今後の学校体育館への効果的・効率的な空調設備の整備に向けた調査等を実施する。
チェック! ●令和5年度までの整備の状況と今後の整備予定は。
●各まちづくり区域における設置対象校の選定方法は。
●環境や教育に配慮したエアコン使用とするための基準は。

予算に対する討論要旨

詳しい内容については市議会ホームページをご覧ください。(掲載は発言順)



反対討論 日本共産党

- ①物価高騰等で依然として市民生活が苦しい中、今こそ支援を強化していく時であり、積極的に財政調整基金を活用すべきである。
- ②増額改定で加入者の負担が増える国保税は、基金からの更なる繰り入れ等により増額を抑えるべきである。また、制度の改善を国に要望するよう強く求める。

賛成討論 颯 爽

- ①地域の特性を知る市民と情報を共有し、時間をかけて熟議を重ねるプロセスが重要である。信頼関係を築く「対話」への取組を求める。
- ②乗合タクシー等の旧市域での実証実験を予算化したことを評価する。事業者や市民との検証を踏まえて検討し、一過性のものとせず、可能性を広げることを求める。

賛成討論 日本維新の会

- ①子育て・教育に係る予算の増額は、現在と未来の子ども達、その子ども達を育てる子育て世代に向けた積極的な施策のための予算として評価する。
- ②依然として財政の硬直化は著しく、行財政構造改革プラン第2期においても、真に必要な事業や施設等を明確な指針を持って考察し、聖域なき改革を断行することを求める。

賛成討論 立 民

- ①市民の暮らしの安全・安心の確保に要する経費、特に能登半島地震の教訓を生かした防災力の向上をはじめ、施設の維持補修など、行政基盤整備の予算が大幅に計上されたことを高く評価する。
- ②会派で求めてきた若年性認知症の相談窓口に係る予算措置を評価する。関係機関の連携、交流の場やデイサービス事業所の拡充を強く求める。

賛成討論 公明党

- ①若年がん患者の在宅療養を支援する制度の導入は、会派として求めてきたものであり、評価する。
- ②小児医療費助成事業の対象を高校3年生まで拡大したことは、県内の政令市では初めてであり、高く評価する。引き続き、所得制限の撤廃を要望する。
- ③障がいのある方へのきめ細かな支援体制の整備や専門的な人材の育成、社会の理解促進に向けた取組の充実等を進めるよう、強く求める。

賛成討論 さがみみらい

- ①「子育て、教育、まちづくり」の視点が加わり、産後ケア事業の拡充や学校給食センターの整備等を盛り込むなど、未来を切り開く様々な予算が計上されたことを高く評価する。
- ②目的別経費のうち、土木費や商工費に比重を置いて財政構造のゆがみの解消を図り、交付税措置が有利となる建設債を多く発行するなど、戦略的な予算編成によって積極的な財政運営への転換が見えてきたことを評価する。

賛成討論 自民党

- ①過去最大規模の一般会計予算は、財政の見直しを進める中でも、社会保障経費や公共施設の長寿命化経費をしっかりと積み上げたものと評価する。
- ②我が会派の要望通り、予算の全件査定で過去の不用額が精査され、より戦略的な予算計上となり、市民の安全・安心の確保や市内事業者の受注機会の拡大にも繋がるものになったことを評価する。
- ③障害者施策の転換は、前よりも良くなったと実感できる事業展開が求められる。当事者等への周知と相談・支援体制の基盤整備にしっかりと取り組むことを強く要望する。



SAGAMIHARA CITY COUNCIL

令和5年度常任委員会 活動レポート

常任委員会とは

議会で審議する議案を、いくつかの部門に分けて詳しく審査するのが「委員会」で、相模原市議会では常に5つの委員会(常任委員会)を設置しているんだよ。
今回は、次の2つの委員会の視察の様子を紹介するよ。

- 1 建設委員会
都市計画、交通、住宅、道路、下水道、災害対策、消防等の分野を審査
- 2 こども文教委員会
子ども・子育て支援、学校教育等の分野を審査

建設委員会

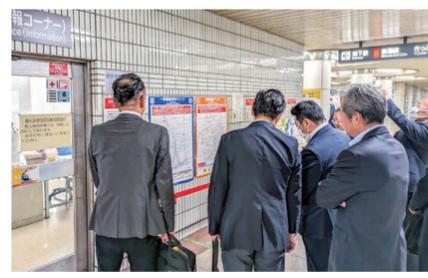
水道管の漏水調査や名古屋駅周辺の再開発等を視察

令和5年10月17・18日 愛知県豊田市、名古屋市

豊田市では、AIや衛星画像を活用した水道管の漏水調査の実証実験等について、名古屋市では、リニア中央新幹線の開業を見据えた名古屋駅周辺の再開発及び防災対策等について、調査研究を行いました。
本市のインフラ整備に係る施策や、リニア駅周辺のまちづくりに係る施策の審査を行うに当たって、参考にしていきます。



豊田市での視察の様子



名古屋駅での視察の様子

こども文教委員会

男性の育児参加支援や任期付教員採用制度等の取組を視察

令和5年10月10・11日 岐阜市、愛知県岡崎市

岐阜市では、父親と母親が共に子育てをする社会の実現を目指す「ぎふし共育都市プロジェクト」等について、岡崎市では、子ども同士が自主的に学ぶ「チーム学習」の推進と「32人学級」の導入、新たな人材確保・育成に向けた「任期付教員採用制度」等について、調査研究を行いました。
本市の子育て支援施策や教育施策の審査を行うに当たって、参考にしていきます。



岐阜市での視察の様子



岡崎市での視察の様子

議会運営委員会活動レポート

議会改革や政策立案機能の強化に向けた取組を視察

令和5年10月19・20日 岡山市、兵庫県芦屋市

岡山市では、超党派の議員による政策条例の提案や議会報告会の開催など、「チーム議会」としての取組について、芦屋市では、議会基本条例の定期的な検証や災害時の議会における事業継続計画等について、調査研究を行いました。
本市議会における取組との共通点・相違点の理解を深め、今後の検討に当たっての参考にしていきます。



岡山市での視察の様子



芦屋市での視察の様子

令和6年2月1日発行の市議会だより第224号の内容に誤りがありましたので、次のとおり訂正します。

- 訂正箇所：4面 谷川ヒロシ議員の一般質問における市長答弁
- (誤) 国のガイドヘルプサービス事業は、原則、通学や通所時等の利用は対象外であるため、今後、本市独自の取組として、18歳未満の方が通常時に利用できるよう、検討を進めていきたい。
- (正) 国のガイドヘルプサービス事業は、原則、通学や通所時等の利用は対象外であるため、今後、本市独自の取組として、18歳未満の方が通学時に利用できるよう、検討を進めていきたい。

大都市制度に関する研修を実施

令和6年2月9日に、議員を対象とした「大都市制度に関する研修」を実施しました。

これは、新たな地方制度として「特別自治市(通称：特別市)」創設の機運醸成の動きがある中で、大都市制度をめぐる論点や課題についての認識を深め、議会における今後の議論の深化につなげるために実施したものです。

当日は、大月市立大月短期大学の山岸絵美准教授を講師にお招きし、「政令指定都市・大都市としての相模原市」や「望ましい相模原市の姿」などについてご講演をいただき、理解を深めました。

本市は、平成15年に中核市、平成22年に政令指定都市へ移行するなど、大都市として発展を続けてきましたが、今後は人口減少が予測されるなど、「大都市としての相模原市」の議論は、ますます重要なものになると考えられます。今回の研修は、本市のこれまでの歩みを改めて確認できたほか、将来を考えるきっかけの一つとなりました。



研修の様子

写真を募集しています!

フォトギャラリーとしてさがみはら市議会だよりに掲載する写真を募集しています。次回掲載は第226号(令和6年8月1日発行)です。市内のお気に入りの風景等をご紹介ください。ご応募お待ちしております!

応募方法 Eメールか郵送で、住所、氏名、電話番号、タイトル、撮影場所、コメント(50字以内)を書いて、政策調査課(Eメール seisakuchousa@city.sagamihara.kanagawa.jp)へ(〒252-5277 中央区中央2-11-15 電話 042-769-9803)へ

【注意事項】

- 応募者本人が相模原市内で撮影した写真のうち、他のコンテスト等への応募をしていないものに限りです。
- Eメールの場合、1通の容量は11MB以内で送ってください。
- 採用された方には連絡を差し上げます。なお、ご応募いただいた写真やデータ等は返却しません。
- 肖像権、登録商標の無断転用、著作権の侵害等に関するトラブルには相模原市議会は一切の責任を負いません。
- 掲載作品の著作権は作者に帰属しますが、相模原市議会がホームページ等で使用することができるものとします。

さがみはらLOVE
フォトギャラリー
「鯉のぼり谷渡し」
(緑区佐野川で撮影)
緑区 福島 幹夫さん
妻の実家のすぐそばの春の恒例行事です。200メートルの両端の山の間に200匹の鯉が風に泳ぐ姿は絶景です。

さがみはら市議会だよりは、新聞折り込みで各家庭に配布しているほか、市役所や区役所等の公共施設にも置いています。ご自宅への郵送をご希望の場合は、相模原市コールセンター(☎042-770-7777)までお申し込みください。

相模原市議会の詳しい情報はコチラから → 相模原市議会 Q検索

※この市議会だよりは15万5,100部作成し、1部当たりの単価は9.79円です。
また、古紙配合率70%以上再生紙を使用し、ユニバーサルデザインの視点を持って取り組んでいます。



「いいね!」してね!!

「フォロー」してね!!